

## 大連市との定期友好協議の開催及び上海市でのトップセールスについて

「日本国・岩手県と中華人民共和国・大連市地域間連携の推進に係る協定」に基づく大連市との定期友好協議を行うほか、大連水産学院で開催される海洋環境技術交流シンポジウムの開幕式に出席しようとするものである。

また、上海市において南部鉄器に係るトップセールスを行おうとするものである。

### 記

#### 1 大連市との定期友好協議

(1) 日時：平成21年9月16日(水)17:00

(2) 場所：大連市政府庁舎(予定)

##### (3) 主な内容

新市長のもとでの協定に基づく友好関係の継続、海外企業誘致への協力、遼寧沿海経済ベルト発展計画への県内企業参画への協力要請などについて、李大連市新市長と会談を行う。

詳細については、別添資料1を参照

#### 2 海洋環境技術交流シンポジウム開幕式

(1) 日時：平成21年9月16日(水)9:00

(2) 場所：大連水産学院(大連市)

##### (3) 主な内容

海洋環境に関する発表や研究者間の交流を目的に開催するシンポジウムの開幕式で開催の挨拶を行う。

詳細については、別添資料2を参照

#### 3 南部鉄器に係るトップセールス

(1) 日時：平成21年9月17日(水)16:00

(2) 場所：上海大可堂茶業有限公司(中国上海市内)

##### (3) 主な内容

上海市内で茶葉の販売を営む上海大可堂茶業有限公司を訪問し、南部鉄器の販路拡大についてトップセールスを行うほか、販売契約の調印式に立ち会う。

詳細については、別添資料3を参照

#### 4 日程

##### 別紙のとおり

スケジュールについては、本日時点となります。変更する場合がありますので、御了承願います。

別 紙

月日(曜日)	日程(案)	宿泊地
9月15日(火)	(移動)盛岡市 (成田空港) 大連市 (表敬訪問)夏徳仁書記(前大連市長)	大連市
9月16日(水)	(開幕式出席) 海洋環境技術交流シンポジウム開幕式(大連水産学院) (表敬訪問)大連経済開発区管理委員会 (説明)「遼寧沿海経済ベルト発展計画」について 大連市対外貿易経済合作局 (定期友好協議:新市長との会談) 李万才大連市長(前遼寧省副省長)	大連市
9月17日(木)	(移動)大連市 上海市) (トップセールス及び調印式立会) 調印式-出席者 及源鑄造(株) 代表取締役 及川久仁子 氏 上海大可堂茶業有限公司 名誉会長 何作如 氏 董事長( ) 張奇明 氏	上海市 董事長(とうじちょう)=筆頭株主=法定代表人
9月18日(金)	(視察)上海万博会場 (表敬訪問)在上海日本国総領事館総領事	上海市
9月19日(土)	(移動)上海市 (羽田空港) 盛岡市	

## 別添資料 1

### 岩手県知事と中国大連市長との定期友好協議の開催について

#### 1 趣旨

大連市政府と平成 19 年に締結した「地域間連携の推進に係る協定書」に基づき、本県と大連市との連携推進に向けた**定期友好協議を開催する。**

#### 2 日時及び場所

- (1) 日時 平成 21 年 9 月 16 日(水) 17:00~
- (2) 場所 中国大連市政府庁舎内

#### 3 内容

岩手県知事と大連市長の会談形式による協議 - 岩手県側からの提案

- (1) 岩手県と大連市との経済交流の継続と一層の推進について
- (2) 人事交流を契機とした経済交流について
- (3) 遼寧沿海経済ベルト発展計画に係る本県企業の協力について
- (4) 海外企業誘致の支援及び本県企業の大連進出など相互協力について

#### 4 出席者

岩手県側：岩手県知事、産業経済交流課総括課長、海外マーケット担当課長  
大連市側：大連市長、外事弁公室、人事局

#### 【「地域間連携の推進に係る協定書(抜粋)」】

日本国・岩手県と中華人民共和国・大連市は、両国間の友好を図り県・市政府間の交流を推進するため、産業・文化・学術・医療分野等多面的分野において交流を重ねてきた。

これまでの交流の成果を踏まえ、両地域が有する環境・経済等のポテンシャルを最大限に活かしたい、相互連携を一層推進するため、以下のとおり協定を締結する。

- 1 両者は、連携に向けての取組みを促進するため、**毎年定期協議**を行う。
- 2 連携強化を図るため、それぞれの政府に所属する職員を相互に派遣することとし、取組みに当たっては、今後相互に協力するものとする。

- 以下省略 -

二〇〇七年五月二十三日

日本国 岩手県知事 達増拓也      中華人民協和国 大連市長 夏徳仁

(問い合わせ先) 商工労働観光部産業経済交流課海外マーケット担当課長 泉 (内線 5538)

## 別添資料 2

### 海洋環境技術交流シンポジウムの開催について

#### 1 趣旨

岩手県と中国大連市が締結した地域間連携の推進に係る協定に基づき、科学技術分野の交流の一環として、岩手県で実施してきた海洋研究の成果発表と研究者間の研究交流を目的に、「海洋環境技術交流シンポジウム」を、大連水産学院、大連海洋与漁業局と共同で開催する。

#### 開催に至る経過

岩手県では、三陸地域の海域をフィールドとした海洋環境に関する研究の促進を図り、三陸地域の海洋研究拠点化、水産業の持続的発展等を通じて三陸地域の振興を図ることを目的とした海洋環境技術交流に関する事業を実施している。

平成 11 年度から平成 18 年度に実施した海洋環境国際研究プロジェクトの研究成果と岩手県の海洋環境への総合的な取組みを活用して中国との技術交流を進めるため、当シンポジウムは 19 年度から実施しており、19 年度の大連市、20 年度の釜石市での開催に引き続き**今回で 3 回目の開催**である。

#### 2 「海洋環境技術交流シンポジウム」について

- (1) 主催 岩手県、大連海洋与漁業局、大連水産学院  
協賛 東京大学海洋研究所、北里大学海洋生命科学部、独立行政法人水産総合研究センター宮古栽培漁業センター、北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所
- (2) 期日 **平成 21 年 9 月 16 日 (水) 9:00 ~ 17:00**
- (3) 会場 大連水産学院
- (4) 内容

#### 研究成果の発表

岩手県側は、海洋環境国際研究プロジェクトの研究成果、または、本県をフィールドとした海洋環境研究等の発表を行う。

大連市側は、大連水産学院、大連市で取り組まれている海洋環境に関する研究の発表を行う。

発表数：岩手県側 4 課題、大連市側 2 課題（大連海洋与漁業局・大連水産学院（予定））

岩手県側発表者は、次の 4 名。

氏名	所属・役職	発表課題名・概要
道田 豊	東京大学海洋学研究所 国際沿岸海洋研究センター長	漂流ブイによる下層流速観測の海洋環境研究への活用
緒方 武比古	北里大学 海洋生命科学部長	貝毒プランクトンと水環境の関係
青野 英明	(独)水産総合研究センター 宮古栽培漁業センター場長	宮古栽培漁業センターのこれからの研究活動について
志津里 芳一	北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所部長	海洋微生物の収集、系統解析と有用機能解析

- (5) **参集範囲・対象者 200 名以上（予定）**  
大連水産学院教職員、学生、青島海洋大学関係者  
その他（政府系幹部職員、関係団体役員、大連一般市民等）

#### 大連水産学院について

- 1 場所 遼寧省大連市沙河口区黒色礁町 52 号
- 2 学院長 姚 杰（よう けつ）
- 3 規模等 組織的には遼寧省に属する大学  
中国に 4 つある水産学院のうち、最も北部に位置し、冷水性の水産物の研究に強い  
13 学部 40 学科、学生数 1 万 2 千人、職員数 1 千人（うち教員 700 人）
- 4 役割 公司（生産会社）への技術者の派遣、研究者の養成、教員の養成
- 5 実績 大連市のみならず中国沿岸地域で展開される養殖業における技術の大半を指導するとともに、技術者を多数派遣し、中国海面養殖業における種苗生産や養殖技術開発での実績は大きい。  
また、アワビ等の貝類やナマコの生産技術は世界でもトップクラスである。

（問い合わせ先）商工労働観光部科学・ものづくり振興課 志田（内線 5251）

## 別添資料3

### 南部鉄器に係るトップセールスについて

#### 1 趣旨

南部鉄器の中国での販路拡大のため、知事が上海市においてトップセールスを行うほか、南部鉄瓶の販売契約の調印式に立ち会う。

#### 2 日時及び場所

- (1) 日時：平成21年9月17日(木) 16:00~
- (2) 場所：上海大可堂茶業有限公司(中国上海市内)

#### 3 内容

##### (1) トップセールス

- ア 本県企業との取引きについて（御礼）
- イ 今後南部鉄瓶の販売拡大について（要請）

##### (2) 調印式

###### ア 出席者

及源鑄造株式会社 代表取締役 及川久仁子

上海大可堂茶業有限公司 張奇明董事長

###### イ 立会人

岩手県知事

（問い合わせ先）商工労働観光部産業経済交流課海外マーケット担当課長 泉（内線 5538）